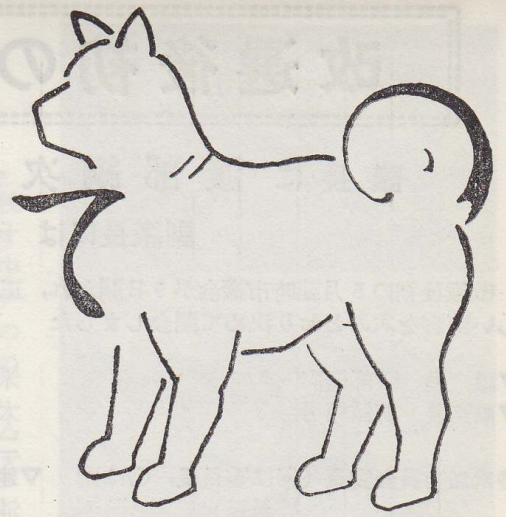


広報

おおだて



6月号

編集と発行
大館市役所

目に青葉山ほととぎす初鯉

◇ 田植がおわり、すぐまた草取りと農家のみなさんはさぞやせわしい毎日をおすごしのことでしょう。

ここ数日の好天気は初夏の気配が感じられるこの頃ですが、すぐ12日から入梅には入ります。

じめじめしたいやなつゆがやってくるこの6月は、とくに、遊びざかりのお子さんにとってはかわいそうな時期です。放っておくと運動不足、睡眠不足、食欲不振などをおこします。

そこでおとうさんやおかあさん達にちょっとした思いやりとくふうをこらしていただいて、このつゆ時を利用して、天気のよいときでできなかったお子さんの情操教育をかねて、のびのびと遊ばせることを考えてみましょう。

◇ この時期はまた農家では一年中でいちばん忙しいときであり、それだけでなくさえ人手不足の農家では、なかなかお子さんのめんどうを見きれないものです。

このごろは、季節保育所などもかなり行きとどいてきたので、このようなところを大いに利用しましょう。

◇ おつとめのおとうさんは、日曜大工で、お子さんのためのコーナーを部屋か縁側のどこかに作ってあげてください。そうした場所がない場合は、家具などを少し片づけて、いわば「子どもの城」をくふうしてあげることです。

健康な幼児は、静かにしなさいといっても聞くものではありません。幼児にとっては遊ぶことが生活なのです。

◇ おかあさん方は、日ごろからためて

おいた包装紙や布きれ、ヒモ類、空びん空かんなどを出して、箱の張り替えや破れた絵本の修繕、人形の着物のつくろいや着せ替え、そのほかおもちゃの修理などをお子さんといっしょにやってみてください。これは教育的にも大切なことで幼児にとっては、雨の日の楽しい遊びとなるものです。

このチャンスを利用してものごとに対する整理の観念や興味を持つように心がければ、自然とよい習慣が身につきます。

◇ つゆ時は食欲が減退します。食欲を増す献立を考えるかたわら、ビタミンの不足を補いましょう。

なお、細菌のはびこる時期ですから、食物の腐敗と中毒には十分注意して、「もったいないから」と残りものを食べて病気になるよう注意しましょう。

